【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和7年3月19日(2025.3.19)

【国際公開番号】WO2022/264592
【出願番号】特願2023-529576(P2023-529576)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｂ 25/04(2006.01)
Ｈ０４Ｍ 11/00(2006.01)
Ｇ０８Ｃ 17/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｂ 25/04 Ｋ
Ｈ０４Ｍ 11/00 ３０１
Ｇ０８Ｃ 17/00 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月11日(2025.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象者の生体情報を取得する取得部と、近距離無線通信を行う通信部と、制御部とを備えたセンサ装置であって、
前記制御部は、
前記取得した生体情報が特定の生体情報かを判定し、
前記生体情報が前記特定の生体情報の場合、前記通信部を介して特定の端末装置を経由して前記生体情報をサーバ装置に送信し、
前記生体情報が前記特定の生体情報以外の場合、前記通信部を介してブロードキャストにより前記生体情報を送信することで、不特定の端末装置を経由して前記生体情報をサーバ装置に送信する
センサ装置。
【請求項２】
前記制御部は、前記取得した生体情報の重要度が低い又は前記取得した生体情報の即時性が高いときに、前記取得した生体情報を前記特定の生体情報であると判定する
請求項１に記載のセンサ装置。
【請求項３】
取得したセンサ情報を送信するセンサ装置と、
前記センサ装置から受信した前記センサ情報をサーバ装置に送信する端末装置と、
を有し、
前記センサ情報がコネクション型で送信されたときは、前記センサ情報は前記センサ装置と通信を確立した第１端末装置が前記サーバ装置に前記センサ情報を送信し、
前記センサ情報がブロードキャスト型で送信されたときは、前記センサ情報を受信した第２端末装置が前記サーバ装置に前記センサ情報を送信する
システム。
【請求項４】
前記端末装置は、前記センサ装置に対して、前記コネクション型で前記センサ情報を送信する先の端末装置を設定する

請求項３に記載のシステム。
【請求項５】
前記サーバ装置は、前記ブロードキャスト型で送信された前記センサ情報が、複数の前記端末装置から転送された場合は、重複しているセンサ情報を削除する
請求項３又は４に記載のシステム。
【請求項６】
前記サーバ装置は、前記コネクション型で送信された前記センサ情報を送信した端末装置に基づいて、対象者の状態を判定する
請求項３から５の何れか一項に記載のシステム。
【請求項７】
前記サーバ装置は、前記センサ装置と端末装置との距離又は前記センサ装置からの前記センサ情報の転送率から、前記対象者の状態を判定する
請求項６に記載のシステム。
【請求項８】
前記センサ装置と前記端末装置との距離が所定の距離より近い場合又は前記センサ装置からのセンサ情報の転送率が所定の転送率より高いときに、報知を行う
請求項７に記載のシステム。
【請求項９】
前記サーバ装置は、前記センサ装置から送信されたセンサ情報を送信した第２端末装置の変化から、前記対象者の状態を判定する
請求項６に記載のシステム。
【請求項１０】
前記センサ情報を送信して前記第２端末装置が同じ種類の端末装置である又は前記センサ情報を送信した第２端末装置の数が変化しないときに、報知を行う
請求項９に記載のシステム。
【請求項１１】
前記端末装置は、前記センサ情報を前記サーバ送信中に、前記センサ装置から緊急度が高いセンサ情報を受信したときは、現在送信中のセンサ情報の送信を一時的に停止し、緊急度が高いセンサ情報を優先して前記サーバ装置に緊急度の高いセンサ情報を送信する
請求項３から１０の何れか一項に記載のシステム。
【請求項１２】
センサ装置から端末装置を経由してサーバ装置にセンサ情報を送信する送信方法であって、
前記センサ情報がコネクション型で前記センサ装置から送信されたときは、前記センサ装置と通信を確立した前記端末装置が前記サーバ装置にセンサ情報を送信し、
前記センサ情報がブロードキャスト型で送信されたときは、前記センサ情報を受信した何れかの端末装置がサーバ装置にセンサ情報を送信する
送信方法。